

2015年8月7日

会員各位

SAM東京支部事務局

2015年9月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2015年9月度例会のご案内を申し上げます。今回は、会員の石川様のご紹介で、長谷川章様にご登壇いただき、「IN-Satellite」をテーマにお話しいたします。

長谷川様は、テレビ番組のタイトル映像やCMなどを制作される映像アーティストで、D-K(デジタル掛け軸)を考案し、国内外の歴史的建造物、日本の県・市庁舎などで「D・Kライブ」を行っていらっしゃいます。

今回の例会では、D-K(デジタル掛け軸)の概念や人と自然、宇宙などについてお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日時：2015年9月8日(火) 12:00~13:40**■会場：(財)商工会館 7階会議室**

千代田区霞が関3-4-2 TEL:03-3581-1634

■スピーカー：長谷川 章様(映像アーティスト。日本UNEP協会企画制作委員会理事、中国中央美術大学名誉教授に指名されている、日本熟年会議所副理事長、片柳学園顧問、NHKアート顧問、JCP日本中国計画顧問、DAC(株)顧問、SKエンタープライズ顧問、PDC顧問、Cool Japan日本文化普及協会顧問)

【略歴等】：1947(昭和22)年石川県小松市生。日本民間放送連盟TVCM部門最優秀賞をはじめ数々の賞を受賞。NHK大河ドラマ「琉球の風」始めニュース、スポーツタイトル、中国中央電視台(CCTV)のステーションロゴやTVCMなどを数千本制作。1995年、日本人の持つ無常の精神からDK(デジタル掛け軸)を発明。以後、DKを通じて、魂の死滅しかけた現代社会へ、スピリットの在処[ありか]を問う。国内の有数の名城をはじめ伊勢神宮宇治橋、ギリシア・アクロポリス、上海国際芸術祭、サンノゼZEROONE2006アートフェスティバル、国連ビル等、世界90に及ぶ場で、DK-デジタル掛け軸を献じる。2003年、ARTIS誌(アムステルダム)に特集として紹介され、単体としてのアートを越えたサイエンスアート「量子芸術」と名づけられた。2007年、日本人で初めてアメリカパブリックアート2007のベストアーティストに選出され、同年、日本の高校の教科書「情報C」に紹介される。62歳、DKを掛ける旅がつづく。著書に、「Digital play」「D-K(デジタル掛け軸)写真集」など。

■テーマ：IN-Satellite (IN(=I&Nature)-Satellite)**■会費：3,000円(ビジターの方は5,000円)****■ご出欠：9月1日(火)までに同封ハガキでお知らせください。**

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日(土日を除く)までにご一報ください。

■次回：10月度例会は10月21日(水)を予定しております。

以上